

～刈谷スマートシティ～ 課題解決型実証プロジェクトの選定結果について

刈谷スマートシティの取組として、昨年度に引き続き、本市の課題を解決するための実証プロジェクト「課題解決型実証プロジェクト」を実施します。4つの課題を提示してプロジェクトを募集した結果、先端技術を持つ民間企業から8の企画提案の応募がありました。審査の結果、以下の4提案を選定しましたので、お知らせします。

1 選定した企画提案概要

(1) 「AIによる危険行為検知&注意喚起」実証プロジェクト

ア 提案者 西日本電信電話株式会社

イ 対象課題 大人に響く交通安全（暮らし安心課）

ウ 提案概要 AIカメラ、スピーカー、ライトを設置し、危険箇所付近を常時撮影する。危険行動（乱横断・自転車逆走）を検知した場合に、音声と光でアラートを発出し、危険行為の抑制とドライバーへの注意喚起を図る。



(2) 大人世代がデジタルで見直す交通安全「おとな安全チャレンジ」

ア 提案者 株式会社アイシン

イ 対象課題 大人に響く交通安全（暮らし安心課）

ウ 提案概要 新技術のメタバースを活用した刈谷市オリジナルの交通安全教育コンテンツを提供する。市内の危険箇所をメタバース化した仮想空間にて、出発地から目的地まで危険を予測して回避しながら、安全に違反なく到着できるか体験することで、楽しみながら学ぶことができ、交通安全意識の向上につなげる。

(3) キッズガーディアンプロジェクト

ア 提案者 トヨタ車体株式会社

イ 対象課題 子どもの見守りサポート強化（子ども課）

ウ 提案概要 園児にキーホルダー（GPS・Bluetooth・QRコード付き）を身につけてもらい、専用小型機器または携帯アプリにより、保育士が園児の位置や距離が把握でき、



園児の管理をサポートする。また、一定距離以上離れて数秒間経過すると、保育士の持つ端末に音や振動で通知されるとともに離れた園児の位置が確認できる。

(4) 自律走行による自動撮影ロボ／写真振分けアプリ

ア 提案者 トヨタ車体株式会社

イ 対象課題 子どもの見守りサポート強化（子ども課）

保育教諭が働きやすいスマートな保育園・幼稚園の実現（子ども課）

ウ 提案概要 自律走行する自動撮影ロボにて、園児の日常活動やイベントでの写真を自動で撮影する。また、撮影した写真は、写真振分けアプリへ自動送信され、個人を判別し、特定のNGシーンを排除して自動で振り分けられる。保育士が撮影した一般写真も自動振分けが可能で、撮影から保護者への案内まで自動でサポートする。

2 今後の予定

2024年6月 事業内容の詳細を協議後、実証プロジェクト開始

～2025年2月 実証プロジェクトの実施、完了

2025年5月 刈谷市スマートシティ推進協議会にて報告

3 問合せ先

刈谷市企画財政部企画政策課みらい共創係

電話 0566-95-0003 メール kikaku@city.kariya.lg.jp

【参考：課題解決型実証プロジェクトの募集について】

1 事業概要

本市が抱える課題を提示し、その課題を解決するための実証プロジェクトを広く募集し、民間企業等の持つ先端技術やノウハウ、アイデアを活用した実証を実施することで、スマートシティのさらなる推進を図ります。

2 応募対象課題（担当課）

(1) 大人に響く交通安全（くらし安心課）

(2) 子どもの見守りサポート強化（子ども課）

(3) 保育教諭が働きやすいスマートな保育園・幼稚園の実現（子ども課）

(4) バス運行状況とロケーション情報の入手（都市交通課）

3 応募期間

2024年3月27日から2024年4月22日まで

4 費用

1プロジェクト当たり上限300万円（刈谷市と委託契約）